

別紙

I. 事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は は間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備 考
1	福祉対策 措置	義務教育修了前児医療費 支援事業	瑞浪市	66,835,005	60,000,000	

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	福祉対策措置	義務教育修了前児医療費支援事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		瑞浪市	
交付金事業実施場所		瑞浪市内	
交付金事業の概要		義務教育修了前までの児童・生徒の医療費（入院・通院）を助成する。	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>交付金事業に関する主要政策・施策：          第6次瑞浪市総合計画（平成26年～令和5年度）          基本方針1：みんなで支え合い健やかに暮らせるまち～健康福祉～          3：子育て支援          (1) 子育て支援の充実          ・子育て世代への医療費助成を実施し、家庭等における生活の安定や、次世代を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図ります。</p> <p>目標：子どもを産み育てやすいまちだと思える市民の割合：65.7%          （平成30年度）</p>		
事業開始年度	平成30年度	事業終了（予定）年度	平成30年度
事業期間の設定理由		—	

交付金事業の成果目 標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和元年度	
	子どもを 産み育て やすいま ちだと思 う市民の 割合 65.7% 以上	市民の割 合：市民 アンケー トにて 「そう思 う」「ど ちらかど いえばそ う思う」 と回答し た市民の 数÷全回 答者数× 100	成果実績		%		66.7
			目標値		%		65.7
			達成度				101.5%
評価年度の設定理由							
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施。 交付金事業の定性的な成果及び評価等							
<p>本交付金の活用により、義務教育修了前までの児童・生徒の医療費無償化の財源を確保することができました。</p> <p>次年度についても、引き続き義務教育修了前の児童・生徒の医療費無償化を実施することで、子育て家庭の生活の安定と児童の健全な育成及び資質の向上を図ります。</p>							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	医療費助成件数 (償還払除く)	活動実績	件	36,309	35,073	33,923
		活動見込	件	38,958	38,958	38,500
		達成度		93.2%	90.0%	88.1%
交付金事業の総事業費等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考		
総事業費	74,833,187	72,482,646	66,835,005			
交付金充当額	70,000,000	70,000,000	60,000,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	70,000,000	70,000,000	60,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
医療費助成		助成	義務教育修了前までの 児童・生徒		66,835,005	
交付金事業の担当課室	民生部保険年金課					
交付金事業の評価課室	総務部企画政策課					

別紙

I. 事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	クリーンセンター 管理運営事業	瑞浪市	276,536,948	222,507,532	

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	クリーンセンター管理運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		瑞浪市	
交付金事業実施場所		瑞浪市日吉町	
交付金事業の概要		クリーンセンターを管理運営し、可燃ごみを処理する。	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>交付事業に関する主要政策・施策          第6次瑞浪市総合計画（平成26年度～令和5年度）          基本方針2：安全・安心で人と地球にやさしいまち～生活環境～          1：循環型社会          (1) ごみ処理施設の適切な運営          ・可燃ごみ処理施設を適切に管理・運営し、ごみを安定的かつ安全に処分します。          ・施設の長寿命化を図るため計画的な施設整備を行い、経済的なごみ行政を推進します。          (4) 4Rの推進          ・市民一人ひとりの自主的かつ積極的な取り組みのため、子どもから大人までごみを減量する意識をもつよう啓発活動を推進します。</p> <p>目標：可燃ごみの年間処理量：10,500トン以下（平成30年度）</p>		
事業開始年度	平成30年度	事業終了（予定）年度	平成30年度
事業期間の設定理由	—		

交付金事業の成果目 標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和元年度	
	可燃ごみ の年間処 理量 10,500ト ン以下	可燃ごみ の年間処 理量(ト ン)：平成 30年度中 に混合焼 却施設に て処理し た可燃ご みの量	成果実績		トン		10,446
			目標値		トン		10,500
			達成度				99.5%
評価年度の設定理由							
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施。							
交付金事業の定性的な成果及び評価等							
<p>本交付金の活用により、クリーンセンターの管理運営委託料、電気料及び燃料費12ヶ月分の財源を確保することができました。このことにより、クリーンセンターを適切に管理・運営し、安定的なごみ処理を実現できました。</p> <p>次年度に向けた改善としては、引き続き環境出前講座などの啓発活動を通じ、ごみの減量意識の向上を図ります。また、経済的なごみ行政の推進のため、施設整備計画に基づく長寿命化を実施します。</p>							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	管理運営委託料、電気料及び燃料費の充当月数	活動実績	月	12	12	12
		活動見込	月	12	12	12
		達成度		100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考		
総事業費	253,112,788	270,401,792	276,536,948			
交付金充当額	251,883,312	246,504,632	222,507,532			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	251,883,312	246,504,632	222,507,532			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
管理運営委託料	随意契約	(株)川崎技研 (福岡市)	162,259,200			
電気料	随意契約	丸紅新電力(株) (東京都中央区)	47,769,925			
	随意契約	関西電力(株) (大阪市)	34,923,532			
機械用燃料費	指名競争入札	東濃石油(株) (岐阜県瑞浪市)	15,559,128			
	指名競争入札	山十商事(株) (岐阜県瑞浪市)	16,025,163			
交付金事業の担当課室	経済部クリーンセンター					
交付金事業の評価課室	経済部クリーンセンター					



別紙

I. 事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は は間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	常備消防運営事業	瑞浪市	217,932,894	205,000,000	

II. 事業評価個表 (平成30年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	常備消防運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		瑞浪市	
交付金事業実施場所		瑞浪市土岐町及び陶町水上	
交付金事業の概要		常備消防機関の安定的運営を図る。(消防署職員給料52名)	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>交付事業に関する主要政策・施策  第6次瑞浪市総合計画 (平成26年度～令和5年度)  基本方針2: 安全・安心で人と地球にやさしいまち～生活循環～  4: 消防・防災  (3) 消防体制の充実  ・常備消防機関の職員3交代制勤務を維持し、部隊編成の固定化による職員の連携強化や専門性の向上を図り、円滑な消防業務を実施します。また、職員3交代制勤務による常備消防機関の安定的な運営により、市民の生命、身体及び財産を、火災や災害等から防除、軽減し、地域住民の安全・安心を確保します。  (4) 救命率の向上  ・その場に居合わせた人 (バイスタンダー) による応急手当が救命率に大きく寄与することから、各種救命講習会を開催し応急手当の普及啓発を推進します。  ・救急救命士を含む救急隊員に対し、恒常的な教育訓練により応急処置等の質を向上させ、救急救命士の処置範囲の拡大等救急業務の高度化に対応します。</p> <p>目標: 年間の救命講習受講者数: 2,300人 (平成30年度)</p>		
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定) 年度	平成30年度
事業期間の設定理由	—		

成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和元年度
救命講習受講者数 2,300人以上	救命講習受講者数：平成30年度中に救命講習を受講した人数	成果実績	人		2,156
		目標値	人		2,300
		達成度			93.7%
評価年度の設定理由					
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施。 交付金事業の定性的な成果及び評価等					
<p>本交付金の活用により、消防署職員52名分の人件費12ヶ月分を確保することができました。このことにより、職員3交代制勤務を維持し、安定的な常備消防の運営を実現できました。</p> <p>次年度に向けた改善策としては、救命講習の受講者数を増やすため、新たな対象者向けの講習の開催や、事業所等に対して講習の実施を働きかけるなど、各種救命講習の普及啓発活動を積極的に行います。</p>					
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					

交付金事業の成果目標及び成果実績

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	消防職員の雇用量 (雇用人数(人) × 雇用期間(月))	活動実績	人月	622	618	624
		活動見込	人月	648	624	624
	達成度		96.0%	99.0%	100.0%	
交付金事業の総事業費等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考		
総事業費	215,613,509	216,768,584	217,932,894			
交付金充当額	190,000,000	190,000,000	205,000,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	190,000,000	190,000,000	205,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
人件費	雇用	消防署職員52名	217,932,894			
交付金事業の担当課室	消防本部消防総務課					
交付金事業の評価課室	消防本部消防総務課					

別紙

I. 事業評価総括表(平成30年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道希望ヶ丘13号線道路修繕工事	瑞浪市	10,059,000	10,059,000	10,093,680

II. 事業評価個表(平成30年度)

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道希望ヶ丘13号線道路修繕工事				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岐阜県 瑞浪市				
交付金事業実施場所		瑞浪市 陶町 大川 地内				
交付金事業の概要		市道希望ヶ丘13号線について舗装の打ちかえと側溝の入替え工事を行います。 市道希望ヶ丘13号線 施工延長 L=80m 構造物工 L=153m 舗装工 A=417m <sup>2</sup>				
交付金事業に関する主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策:第6次瑞浪市総合計画(H26年~平成35年)第3編基本計画第1章分野別まちづくり計画 基本方針:自然と調和した快適で暮らしやすいまち(都市基盤)</p> <p>1. 道路・河川 住民が安全に安心して通行できる道路の確保 めざす姿</p> <p>1. まちの状態 道路や橋梁の耐震化が進み、災害に強い都市基盤が整備することを目指します。</p> <p>2. 市民の暮らし 身近な生活道路が整備され、快適に生活することを目指します。 (目標)必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができていると感じる市民の割合 現状 63.4%(平成29年度) 中間目標 65.3%(平成30年度) 最終目標 67.3%(平成35年度)</p>				
事業開始年度		平成26年度	事業終了(予定)年度		平成35年度	
事業期間の設定理由		第6次瑞浪市総合計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度平成30年度	
		中間目標:平成30年度 65.3%	必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができていると感じる市民の割合(%)	成果実績	61.6	
		最終目標:平成35年度 67.3%		目標値	65.3	
				達成度	94	
		評価年度の設定理由				
		複数年度にまたがって道路整備を行う場合、道路整備が完了し成果実績の測定を行った後でなければ事業評価を行うことはできません。まずは事業中間年度に中間評価を実施し、成果実績状況を確認した上で、事業終了年度に最終的な事業評価を行います。				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
本年度は中間目標の年であり、成果実績は61.6%であった。目標である65.3%には3.7%足りなかったが達成度としては94%であり市としては必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができていると感じています。次年度も生活道路の維持・保全を努めるとともに住民生活がよりよいものになるように道路整備を推進していきます。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	必要な生活道路の整備状況(%)	活動実績	m	651	135	80	
		活動見込	m	651	135	80	
		達成度	%	100	100	100	
交付金事業の総事業費等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考			
総事業費	13,716,000	10,728,720	10,093,680				
交付金充当額	10,006,000	10,035,000	10,059,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分							
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額		
	道路工事	指名競争入札	株式会社西尾建設		10,093,680		
交付金事業の担当課室	瑞浪市 建設部 土木課						
交付金事業の評価課室	瑞浪市 建設部 土木課						